

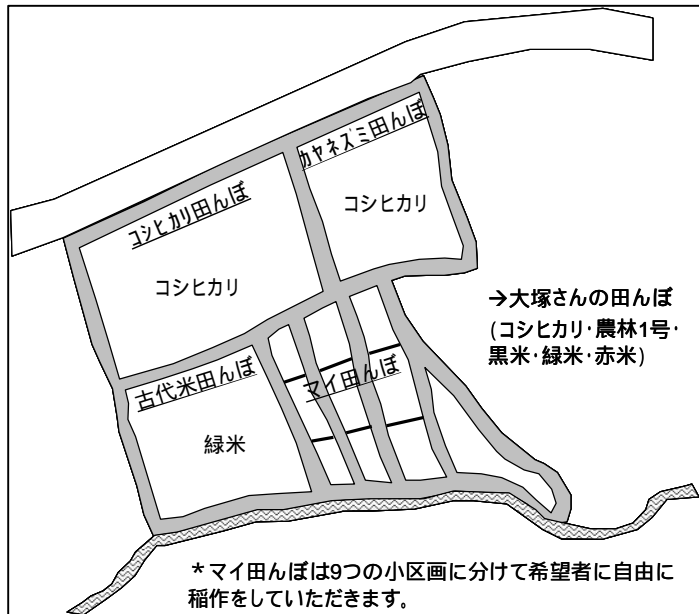
## 下大和田・小山町YPP・今年の米づくり

### 下大和田

今年も昨年同様、YPP と大塚さんの田の稲作を行います。作付けは基本的に昨年と同じにしようと思っています。今までと変わることは、コシヒカリの苗も自前で作ることにしたことです。コシヒカリの苗を自前で作るとなると、苗床も広くしなければならず、又、種モミも3升程度用意して早めに播種しなくてはとすでに準備の段階に入っています。約20m<sup>2</sup>の苗床を作り、3月24日には種モミを冷水に浸漬しました。4月5日に播種の予定でこの谷津田だよりが発行される時には稲作の第一段階を終了しています。

古代米は緑米を中心にクロマイの作付けを少し増やし、農林1号、赤米は種モミを確保できる程度に作付けしようと思っています。多品種を作るとなると手間が大変なので品種をある程度抑えて作業が楽になるようにと思っています。古代米の田植えは例年より2週間ほど早くして秋の実入りをよくしてみたいと思っています。

出来るだけ多くの人に参加してもらって稲作を楽しもうと思います。希望者があればマイ田んぼも用意できますので早めにお申し出下さい。YPP 田の他大塚田の稲作に参加したい方がおられれば大歓迎です。(石橋)



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
コシヒカリ		苗代づくり	田起こし(10日)・ 田植え(17日)	←	草取り	→	稲刈り (20日ごろ)	脱穀 (4日ごろ)	
古代米		苗代づくり	田起こし(26日ごろ)	田植え (7日)	←	草取り	→	稲刈り (25日ごろ)	脱穀 (9日ごろ)

### <スタッフから一言～今年の抱負>

今年も、地元で認められ・生き物に優しい・見た目も美しい米作りを目指します。散歩される人たちを和ませるような緑濃い田んぼにするために、労力を惜みず淡々と田作りに邁進し、秋の収穫祭を楽しみたいと思います(石橋) 少し関わっているものを整理しました。その分、下大和田や小山町に行ける回数が増やせると自分でも期待しています。米作りのためには生きものの誘惑に負けないようにしなくては!(網代) 放棄田の草刈りが行われ、広く見渡せるようになりました。ずーっと以前の下大和田は、こんな景色が谷津田全体にずっと広がっていたんだらうなあと、思わず見とれてしまいました。私にとっては出会いと学びと包容の下大和田谷津田です(小西) みんなといっしょに楽しく作業していきたい。何年通ってもなかなか憶えない谷津田の生き物の名前を少しずつ勉強したい(江澤) 田のくろ(畦)をまたいで田植えをすると、お産が重くなる』という諺があるそうです。お腹の大きな今年に田んぼには入らず、皆のお腹の足しになる差入れを持って出来るだけ参加。収穫祭の頃には、無事に二世デビューしたいです(中村ま) この四月で下大和田に来て三年が経ちます。谷津田の自然と優しい皆様方には、今までたくさんの出会いと喜びをいただきました。大変感謝しております。今年もどうぞよろしくお願い致します(大友) 谷津田のたんぼ作りは楽しいなあと思ってもらえるよう、自分でもよい汗を今年も流したいと思います。谷津田だよりに記載される季節のうつろいや毎月の出来事を読んでたくさんの方々を下大和田の谷津田を訪れてほしいと思います(南川) 時間の取れる限り頑張ります!(平沼) 生き物が一斉に動き出す季節がやって来ました。休眠状態に入っていた体にカツを入れる季節でもありますね。季節によって顔を変える谷津田の風景を楽しみながら、農作業で体を鍛えるという田んぼでの「ながらエクササイズ」を今年は意識しながらやっっていこうかな(福満) 8年目を迎える米づくり。魅力あるプログラムで一人でも多くの方に谷津田の楽しさを知っていただけるようがんばります!(高山) 季節ごとに様々な表情を見せてくれる谷津田。時に清々しく時に厳しい、そんな谷津田に棲んでいる生きものと仲良く暮らせるような環境を、仲間たちと一緒に保全していきたいと思います。(田中)

## 小山

小山町の米作りは、今年で3年目を迎えます。おとしはコシヒカリを中心に稲作をしましたが、下大和田の田んぼで綺麗に色づいた赤米に魅せられたこともあり、昨年度は古代米中心の稲作にしました。初秋に綺麗に色づく赤米の稲穂は、観賞用にと日ごろお世話になっている地元の方や、近隣の皆様へお届けし喜んでいただきました。「珍しいものを見させてもらってありがとう。」の言葉が稲作への励みとなりました。

昨年の収穫は、コシヒカリ 7.8 kgと古代米の緑米が 12.4 kg、黒米 5 kg、赤米 1 kgとわずかでしたが、幼稚園児から大人まで参加する自然観察会の折、山菜おこわや五目おこわを作ってみなでいただいたうえに、残ったお米は作業を手伝ってくださった方々と分けることができました。

今年度も古代米を中心にお米づくりを始める予定にしています。また新たな挑戦として、不耕起農業を試みます。昨年秋に荒地へ大麦の種をばら蒔いてみました。そこに3月25日、子ども達に泥団子に混ぜた赤米の種をばら蒔いてもらいました。5~6月ごろには大麦の刈り取りが行なわれその頃には赤米の芽の出てくると思います。大麦は、観賞用として、麦茶用として自然観察会や作業の合間の飲み物にしたいと思っています。

この2月末から、大椎小学校の5年生が総合学習の一環として米づくりを行う田んぼの田起こしを保護者の方々と行っています。休耕田を耕すだけで絶え間なく湧水が流れ出し、この1ヶ月の作業ですっかり田んぼらしくなりました。今年も稲作と自然観察のお手伝いをします。

YPPがお借りしている所は、まだ休耕田や荒地があるため、その土地の手入れや活用のあり方をさまざまな方法で模索しながら、活動を行なっていきたいと思います。(齊藤・松下)

### <スタッフから一言~今年の抱負>

昨年度は私事で十分に活動に参加することができませんでした。今年度は、大椎小の米づくりのお手伝いを通し、少しでも多くの人に谷津田の心地よさをPRできたらと思っています!!(松下) 谷津田で作業をしていると、あっという間に時間が過ぎ、分身できればいいのと思うほどです。稲作は勿論、りんどう広場でのサツマイモ作りや自然観察ルート整備などをしたいと思っています(齊藤) 地元の方、YPPの観察会やイベントに来てくれた方、小学校田んぼにやって来る小学生。田んぼを通して知り合えるたくさんの人たちとの関わりを大切にしながら活動していきたい(江澤) 去年はたくさんの子供達にたくさんのお話を教わった一年でした。子供達の自然を感じる力には、いつも驚かされます。子供達と一緒に過ごせる時間と、小山の自然に感謝しております。今年もどうぞよろしくお願い致します(大友) YPP田んぼは軌道にのり、大椎小田んぼも2年目を迎えることができました。地元と周辺地域、小学校がうまく連携して楽しく谷津田の保全活動を進めていきたいと思っています(高山)

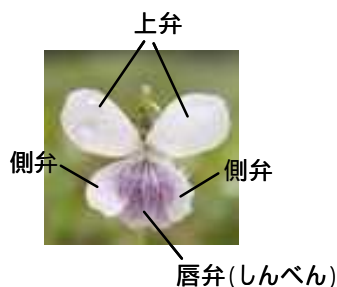
## 谷津田いきもの図鑑 No.16

### ツボスミレ(ニョイスミレ)

スミレというと紫色の花を思い浮かべることと思います。谷津でも斜面林の縁のあちこちで紫色のタチツボスミレが春早くから花を開きます。一方、少し遅れて3月末~4月はじめに湿った田んぼの畦に白い花をつけるのがツボスミレです。小さな群落を作って細い茎(花柄:かへい)に1枚ほどの花を咲かせます。ニョイスミレとも呼ばれていますが、「ニョイ」というのは僧侶が手に持っている如意棒と

呼ばれる仏具のことで(孫悟空も使ってますね!)、曲がった花柄の形がこの如意に似ていることで名付けられたそうです。ツボ(坪)は庭とか道ばたのことで咲いている場所を指しているのでしょう。スミレの花には5枚の花びらがあります。一番下の唇弁(しんべん)の付け根は後ろに筒型に飛び

出していて、「距(きょ)」と呼ばれています。距とはニワトリの足の後ろ側にある突起(蹴爪、距爪:きょそう)のことです。小さく弱い花で季節も短いので気づかないことが多いのですが、この季節谷津田の畦を気をつけて歩いてみて下さい(高山邦明)





# 里山たんけんレポート

## 第 98 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2008 年 3 月 2 日(日) くもり

今年は寒い日が続きましたが畦には早春の草花が咲き始めました。ブルーのオオイヌノフグリ。ピンクのホトケノザ、ヒメオドリコソウ。白のタネツケバナ、ナズナ。黄色のセイヨウタンポポ。など。この時期、タンポポは寒さを避けて地べたに張り付くように花を咲かせています。が、種が実ると茎を長く伸ばして遠くに種を飛ばそうとする特有の姿です。冬鳥の観察は今シーズン最終となるので下流部の沼まで足を伸ばしました。冬鳥は繁殖地へ向け動き始めているのか数は少なくなっているようでしたが、ベニマシコには今日も会えました。ウグイスが囀り、エナガ、シジュウカラ、は活発に動いていました。アオジ、カシラダカ、ツグミ、カワセミ、ノスリなど 19 種が観察できました。ニホンアカガエルの卵塊はオタマジャクシに孵っているものもあれば産卵したばかりのものもありました。昨年の産卵数にはまだ至っていません。ニワトコの芽が大きく膨らみ、陽だまりにはナナホシテントウが 2 匹見られました。越冬した昆虫が出てくる季節になりました。

(参加者 大人 5 名; 報告: 網代春男)

## 第 82 回 下大和田 YPP 「味わおう! 春の谷津田」

2008 年 3 月 29 日(土) 晴れ

気持ちのよい天気恵まれ、恒例の野草を食べる会が行われました。芽吹きはじめた斜面林は緑の点描にコブシの白色が加わっています。あちこちからウグイスのさえずりが聞こえる谷津を散策し、みんなで野草を摘みました。ニワトコはちょうど食べ頃の芽を出しブロッコリーのようなつぼみを付けていました。足元にはヨモギ、ミツバ、カラスノエンドウ、スイバ、ハコベ、セイタカアワダチソウ、ハルジオンなどたくさん。ノビルを株ごと引き抜くと立派な鱗茎がたくさんついていて歓声が上がります。わいわい広場に戻って収穫を種類ごとに仕分けして、さっそく天ぷらにいただきました。口の中に広がる春の味わい。お~いいい! という声があちこちから聞こえてきます。ヨモギ団子、ハコベやカラスノエンドウのお浸し、酢みそを付けたノビルなど、この季節ならではのおいしさに笑顔がいっぱいでした。究極の地産地消ですね。お腹がいっぱいになったところで、小学校が中心となって考えてくれたゲームを楽しみました。ウルトラクイズにはじまり、こぼしちゃダメよ!、伝言ゲーム、どれも盛り上がりましたね。最後にみんなで輪になって春の歌をうたいました。さくら、春の小川、早春賦、花、ふるさと、とこの季節にぴったりの歌を谷津でうたうのがこんなに気持ちがいいものだとは思いませんでした。



(参加者 大人 19 名、小中高生 10 名、幼児 2 名 報告: 高山邦明)

## 第 31 回 小山町 YPP「田んぼづくり」

2008 年 3 月 15 日(土) 晴れ

2 月に続いて地元の大椎小学校が米づくりをする田んぼづくりをしました。その後、週に 1 回の平日の作業も行われて今回が 4 回目になります。学校からの声かけで参加した保護者や子どもたち、学校の先生方が大勢集まってにぎやかな田起こしになりました。昨年はお母さんだけだったのですが、今年はお父さんたちの参加があっという限りです。雑草の根で覆われて固くなっていた地面をスコップや鍬で耕し、地中深くにあるアシの根っこを掘り出す作業はなかなか大変ですが、人海戦術の皆さんの協力でどんどん進みます。畦を作って 4 クラス分の田んぼがちょうど「田」の字になりました。泥んこになった子どもたちの顔には笑顔がいっぱいでした。

田んぼづくりは 4 月 1 日まで平日 5 回を含めて作業が行われ、見事に田んぼが出来上がりました。復活した田んぼにはさっそくアカガエルが産卵したり、アメンボが泳いだり、生きものたちが戻ってきています。皆さん、ご協力ありがとうございました。小学校の子どもたちが田植えに来るのが楽しみです!

(参加者 大人 20 名、小学生 9 名、幼児 2 名; 報告: 高山邦明)



## 谷津田・季節のたより

### 小山町

- 3月11日 あざみ谷の陽だまりではコケリンドウ、タチツボスミレが咲いていた。気温も上がって冬を越したルリタテハやホソミオツネトンボ、ハムシの仲間が飛び出した。ウグイスは上手に囀るようになった。ノスリが斜面林に沿って飛んだ(網代)。
- 3月15日 シュレーゲルアオガエルやニホンアマガエルの鳴き声がした。キタテハが舞い、地面にコモリグモの仲間がたくさん走り回っていた(高山)。
- 3月22日 アズマヒキガエルが産卵。タチツボスミレが開花。斜面林ではキブシやウグイスカグラが花をつける(高山)。
- 3月25日 大椎小田んぼにアカガエルの卵塊、湧水付近でサワガニがいた(齊藤)。
- 3月30日 ツボスミレ、ヘビイチゴ、カキドオシなど春の草花が一斉に開花。アズマヒキガエルが孵化(高山)。

### 下大和田

- 3月23日 田んぼにアズマヒキガエルが産卵。アオダイショウの姿を見かける(網代)。タネツケバナがあちこちで開花。斜面林でイヌシデが芽吹き、休耕田でヤナギが開花(高山)。
- 3月27日 シュレーゲルアオガエルがあちこちで鳴く。田んぼからオシドリが飛び立つ(田中)。

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも)： ちば環境情報センター (TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/)

ご注意： ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任をお願いします。

### 第32回 小山町 YPP「田んぼづくりと自然観察」・第33回「古代米苗代づくり」

春爛漫の谷津で今回も学校田んぼづくりをします。田んぼの草花や生きものも観察しましょう。5月は古代米の苗代を作って種もみをまきます。いよいよ米づくりのスタートです。

日時： 第32回 2008年4月12日(土)10:00~12:30

第33回 2008年5月6日(火・祝)10:00~12:30 \*いずれも小雨決行

場所： 千葉市緑区小山町 リンドウ広場

持ち物： 長靴(できれば長め)、軍手、飲み物、敷物など

参加費： 100円(資料代など)

### 第83回 下大和田 YPP「田んぼの手入れ、谷津のゴミ拾い」・第84回「田起こし」

畦の整備や古代米の苗代づくりをします。最近、目立つゴミのクリーンアップもしたいと思います。5月はコシヒカリ田んぼの田起こしをします。生きものいっぱい谷津の自然を楽しみながらぎやかに作業しましょう。

日時： 第83回 2008年4月20日(日)10:00~14:00

第84回 2008年5月10日(土)10:00~14:00 \*小雨決行

場所： 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物： 長靴、軍手、弁当、飲み物、お椀、小皿、はし、敷物など。

参加費： 300円(資料代など)

主催： ちば環境情報センター 共催： ちば・谷津田フォーラム

### 第100回 下大和田5月の谷津田観察会とごみ拾い

観察会は100回目となりました。下大和田の谷津は自然豊かでいつも新鮮な驚きや発見があることが続けられてきた源だと思えます。春の花が一番たくさん見られる季節です。生きものも達も賑やいできました。

春爛漫の谷津を散策しましょう。午前中はみんなで谷津を散策し、午後は田んぼの作業などをします。

日時： 2008年5月4日(日)観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動\*小雨決行

場所： 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合： 中野操車場向かいラーメンショップ脇に10:00(同上)

持ち物： 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費： 300円(資料代など)

主催： ちば・谷津田フォーラム 共催： ちば環境情報センター

**編集後記** 小山ではみなさんの力で見事に休耕田が学校田んぼに復活しました。子どもたちも親御さんも泥んこになりながらとても楽しそうに作業していたのが印象的でした。これからYPPもいよいよ「農繁期」です。谷津の保全活動は継続が一番。そのためには何よりも楽しんで活動することが大切です。みんなでわいわいにぎやかに作業したいと思いますのでみなさんのご協力をどうぞよろしくをお願いします。(高山邦明)